

令和4年第7回小坂町議会（定例会）議事日程 第2号

令和4年11月30日（水）午前10時開議

◎ 一般質問

(1) 9番 小笠原憲昭君

(2) 8番 鹿児島巖君

(3) 5番 菅原明雅君

(4) 3番 本田佳子君

(5) 6番 秋元英俊君

令和4年11月29日招集

第7回小坂町議会（定例会）

---

## 発言通告書

---

発言順	議席番号	氏 名	発言の種別	出席要求者
1	9	小笠原憲昭	一般質問	町長
(発言の要旨)		(発言の内容)		
1. 町発注工事について 2. 指定管理観光施設の運営状況について		工期の設定、対象地域住民への説明等は適切か。		

発言順	議席番号	氏 名	発言の種別	出席要求者
2	8	鹿児島 巍	一般質問	町長・教育委員会の教育長
(発言の要旨)		(発言の内容)		
1. 国の介護保険制度見直しにかかわって。		<p>介護保険は3年毎に制度の見直しを行うことになっており、国は現在、次回の見直しに向けて厚労省の社会保障審議会介護保険部会で審議を進め、この12月には結論を出す予定といわれており、その柱は</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①介護保険サービスの利用料2~3割負担の対象拡大。</li> <li>②要介護1、2の訪問介護、通所介護を地域支援・総合事業に移行する。</li> <li>③ケアプランの有料化。</li> <li>④老健施設などの相部屋（多床室）の有料化</li> <li>⑤保険料の納付年齢の引き下げと利用年齢の引き上げ</li> <li>⑥補足給付の資産要件に不動産を追加</li> <li>⑦福祉用具レンタルの一部を買い取りとする。</li> <li>⑧「高所得者」の保険料引き上げ。</li> <li>⑨施設へのロボット導入で職員配置の削減。</li> </ul> <p>などと伝え聞く。</p> <p>この見直しが行われれば、在宅介護が在宅「放置」になるのではないかとの不安、さらに制度発足以来最大の負担増・給付減となる改悪であるとの声さえ上がっている。</p> <p>町はこの見直しをどのように捉えているか。町民のいのちと暮らしを守るために国への意見具申とともに、町として独自に負担軽減と給付の充実に取り組むことが必要と考えるがどうか。</p>		
2. 国保税の負担軽減について		<p>国保税が組合健保や共済健保など他の健康保険に比べ被保険者の負担が大きいことはこれまでに取り上げてきたところであるが、昨今の町民の経済状況、中でも国保加入者の状況は大変厳しく、特に国保税の負担感は増大していると受け止めている。</p> <p>一方、国保会計では剩余金や基金が増加傾向であり、こういった財源を活用して、税率の引き下げや均等割、平等割の引き下げ、18才以下の均等割の廃止などで、被保険者の負担軽減に活用すべきと考えるがどうか。</p>		
3. 学校給食の完全無償化について		<p>この課題についてはこれまで継続的に取り上げ、その実現を求めてきたが、現今社会状況、今後の趨勢を踏まえれば、義務教育における食育の必要性、重要性はますます高まっていくと考える。</p> <p>これまでの答弁では「限りある予算の中、様々な補助等の課題があり、現状を継続したい」として来たが、義務教育における学校給食の意義と必要性に一步踏み込み、完全無償化を決断すべきと考えるがどうか。</p>		

発言順	議席番号	氏 名	発言の種別	出席 要 求 者
3	5	菅原 明雅	一般質問	町 長
(発言の要旨)			(発言の内容)	
1. 「小坂町のゼロカーボン（脱炭素）化」について			<p>前回9月定例会一般質問において、鹿児島議員が「国の『脱炭素移行再エネ推進交付金』事業に手を上げる考えは」と質問され、町長は「まず自然エネルギー活用の可能性について情報収集したい」と答えられました。そして議会最終日の全員協議会では、講師を招き「国立公園十和田湖&amp;小坂町のゼロカーボン（脱炭素）化」について勉強する機会を得ました。その際も町長は、この事業への申請へ向けて前向きな発言をしていたと思いますが、</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>(1) その後の進捗状況を伺いたい。</li> <li>(2) ゼロカーボン化は国としての目標であり、今後各地方自治体に課せられるものと考えますが、小坂町としてこの課題に今後どのように取り組もうとお考えか伺いたい。</li> <li>(3) 関連して、小坂高校跡地を太陽光発電地として利用できないかとの提案がありましたが、高校の跡地利用をどのようにお考えか、改めて伺いたい。</li> </ul>	
2. プロ野球ドラフト会議で指名された「杉澤龍外野手」への町としての応援態勢について			<p>10月20日のプロ野球ドラフト会議で、本町出身の杉澤龍外野手がオリックスから4位指名されました。本町からプロ野球選手が生まれるということは前代未聞の快挙であり、翌日の新聞では「これからは町を挙げて応援ていきたい」との町長のコメントが記載されました。</p> <p>そこで「後援会」を設立するなどの具体的な応援態勢をお考えか、お伺いしたい。</p>	

発言順	議席番号	氏 名	発言の種別	出席 要 求 者
4	3	本田佳子	一般質問	町長・教育委員会の教育長
(発言の要旨)		(発言の内容)		
1. 子宮頸がんを防ぐH PVワクチンの定期接 種化について		<p>1. HPVワクチンの積極的推奨再開にあたり、定期接種対象者およびキャッチアップ対象者への周知はどのように行いましたか。</p> <p>2. 町の今年度最近までの接種率は、どのくらいですか。</p>		
2. グリーンライフ・ポ イントの推奨について		<p>1. 環境省が脱炭素型のライフスタイルへの転換を進めるため、環境に配慮した製品やサービスを選んだ人にポイントを発行する「グリーンライフ・ポイント」ですが、当町は取り組んでいますか。</p> <p>2. グリーンライフ・ポイントの推進について、当町の見解をお聞かせください。</p>		
3. 学校におけるてんか ん発作時の対応につい て		<p>1. 学童や生徒がてんかん発作を起こして対応した事例はありますか。また、現在発作を起こす学童・生徒はいますか。</p> <p>2. てんかん発作に対して口腔用液（ブコラム）が薬事承認され、今年7月19日付で内閣府、文部科学省および関係各省庁事務連絡において緊急時、「学校におけるてんかん発作時の口腔用液（ブコラム）の投与」が発令されました。関係者の方には周知されましたか。</p> <p>3. 医師との連携はとれるようになっていますか。</p>		

発言順	議席番号	氏 名	発言の種別	出席要求者
5	6	秋元英俊	一般質問	町長・教育委員会の教育長
(発言の要旨)		(発言の内容)		
1. 令和4年の大雪による災害復旧について。		<p>1. 町道真木平線・余路米1号支線・萩平台作線における国の公共土木施設災害復旧事業の指定は受けたのか。(受けたとすれば、その復旧計画はどのようなタイムスケジュールで進むのか。)</p> <p>2. その他、町道関係や河川関係の災害復旧対応の進捗状況は。</p> <p>3. 農作物関係の被害に対して経過観察としている個所があるが、その後の対応は。</p> <p>4. 水路や水田等の災害対応の進捗状況は。(手紙坂の導水管破裂、野口の水田・水路土砂流入に対して国への申請状況及び荒川の橋の災害復旧に対しての県の答えは、などを含む。)</p>		
2. 除雪について。		<p>1. 町政報告にある皆様の要望を聞きながら対応するとしていますが、昨年度はどのような要望があり、どのように対応したか伺います。</p>		
3. 令和5年度予算について。		<p>1. コロナ禍における予算編成や令和3年度決算時の不用額等を踏まえた令和5年度の方向性は。</p>		
4. スポーツ・レクリエーション施設について。		<p>1. 実施計画にはないが、野球場の観覧施設等の老朽化について、考慮すべきと考えるが。</p> <p>2. 陸上競技場のトラック改修において、凹凸が見られるが、契約上瑕疵担保責任で直せないのか。(使用者の意見を反映した質問。)</p>		